

NEWS23 週刊報告 ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：6/10～6/14

・6/10(月)

年金問題、防衛省のイージスアショアと F-35、香港デモ、【異論反論】#月給 30 万円少ない？などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、【異論反論】#月給 30 万円少ない？については高く評価できる一方、年金問題については問題とされる場面が見られました。また、防衛省のイージスアショアと F-35 については検証者の所感を記しました。

・6/11(火)

金融庁報告書、米中貿易摩擦、高齢ドライバー対策に本腰、東京福祉大学の留学生、総務省の携帯電話規制、中国空母が沖縄ー宮古島間を通過などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、金融庁報告書については問題とされる場面が見られました。

・6/12(水)

香港の民主化運動、安倍首相がイラン訪問、金融庁の報告書などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。香港の民主化運動については今後の取り上げ方に注視が必要と考えるものでした。また、金融庁の報告書については検証者の所感を記しました。

・6/13(木)

ホルムズ海峡でタンカー攻撃、安倍首相イラン最高指導者と会談、金融庁報告書問題、「天皇発言」の韓国議長が謝罪などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、金融庁報告書問題については放送法違反の疑われるものでした。

・6/14(金)

などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年6月10日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：年金問題、防衛省のイーグリスアショアと F-35、香港デモ、【異論反論】#月給 30 万円少ない？		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県いすみ市に大雨で避難勧告 ・年金問題 ・防衛省のイーグリスアショアと F-35 ・札幌で二歳女児衰弱死 ・足立区で園児の声うるさいと脅迫文を出した男を逮捕 ・兵庫県で 80 代男性が妻をはねて死亡 ・香港デモ ・上皇后さま不整脈などの診断 ・スポーツ報道 ・【異論反論】#月給 30 万円少ない？ 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年金問題 <p>年金問題について以下に朱記したように VTR で取り上げられていた。</p> <p>ナレ「今日の参院決算委員会には安倍総理を始め、全閣僚が出席、総理の出席はおよそ二ヶ月ぶりです。」</p> <p>"蓮舫（立憲民主党副代表）「日本は一生懸命働いて給料をもらって勤め上げて退職金をもらって、年金を頂いて、それでも 65 歳から 30 年生きると、2000 万円ないと生活が行き詰まる、そんな国なんですか。」</p> <p>安倍総理「不正確であり、誤解を与えるものであったと。」</p> <p>蓮舫「不正確でも誤解もしていません。」 "</p> <p>ナレ「立憲民主党の蓮舫議員が追求したのは今月 3 日、金融庁が出した報告書について、夫 65 歳以上妻 60 歳以上の夫婦のみの世帯が 30 年生活するには年金以外におよそ 2000 万円が必要と指摘しているのです。」</p> <p>"蓮舫「30 年で 2000 万必要、麻生さん、コレナンデですか。」</p> <p>麻生太郎（財務相）「高齢者の家計については貯蓄や退職金を活用しているということに触れることなく、30 年で 2000 万円の赤字であるかのように表現したという点につきましては、これは国民の皆様にも誤解や不安を広げる不適切な表現であったと私共は考えているわけで。」 "</p> <p>"ナレ「釈明に追われた麻生財務大臣でしたが。」</p> <p>蓮舫「この報告書読みました。」</p> <p>麻生財務相「全体読んでいるわけではありません。」</p> <p>蓮舫「それだけ国民の間で怒りが蔓延して大問題になっている。読んだら 5 分で終わる報告書を読んでいない。」</p> <p>"</p> <p>"ナレ「野党側が問題視する背景には 2004 年の年金制度改革があります。」</p>		

神崎武法（公明党代表：当時）「100年間崩れない、年金の仕組みを作ることができます。」

ナレ「この時政府与党は年金制度 100 年安心とアピールしていました。」 "

"蓮舫「この報告書で国民が怒っているのは 100 年安心が嘘だった、と、自分で 2000 万円貯めろってどういうことかっていう憤りですよ。もっと働け、節約しろ、貯めろ。公助から自助に、総理、いつ転換したんですか。」

安倍総理「100 年安心がね、100 年安心ではないということを仰ったわけでありますから、アベノミクスの進展によってもはやデフレではないという状況ができたことを反映してですね、今年度の年金は 0.1%の増額改定になりました。」 "

"ナレ「自説を展開する安倍総理、委員長から注意も入り、議論は何度も中断しました。

自民・石井委員長「答弁は簡潔に願います。」

野次「止めろよ」

安倍総理「今、正確に制度について説明させていただいているんですから、止めろよとか、やめろよとか。大きな声を出すのはやめましょうよ。なお、デフレが、なおですね。」

自民・石井委員長「御答弁は簡潔に願います。」

安倍総理「いや、すいません、委員長、ですね。」 "

"ナレ「更に、」

蓮舫「年金が 100 年本当に安心かどうかは 5 年に一度の財政検証をしっかりと審議することが大事だと思います、今年これなぜまだ未公表なんですか。」 "

ナレ「蓮舫議員が問題にしたのが年金の財政検証、年金の運用実績や将来の見通しを示すもので 5 年に一階公表されます、前回の公表は 2014 年 6 月 3 日、前々回は 2009 年 2 月 23 日でしたが今年はまだ公表されていません。

野党側からは参院選後に先送りするのか、との批判が出ていました。」

"蓮舫「早く出さないで国会で審議できない、まさか参議院選挙後に出すということはないですよ、総理、出していただける、と約束してください。」

安倍総理「政治的に出さず出さないかということではなくて、現在、根本大臣の監督のもとに厚生労働省においてしっかりと作業が進められているものと認識をしております。年金財政を支える経済基盤はより確かなものになったということは確認をしております。」 "

ナレ「最後まで噛み合うことがなかった議論。」

"ナレ「野党側は、」

小池晃（共産党書記局長）「年金となるとどうしてああまで急にムキになるのかなあ、と、。年金問題というのはある意味では自民党、そして安倍首相にとって見ると非常に、まあそれこそ悪夢のような問題が蘇ってくるのではないか。」 "

"ナレ「年金問題の悪夢。」

安倍総理（2007 年当時）「総理の職を辞すべき、と決意をいたしました。」

ナレ「2007 年、厚労省でずさんな年金記録が判明した、消えた年金問題です、当時野党は国会でこの問題を厳しく追求、自民党はこの年の参議院選挙で歴史的な大敗を喫し第一次安倍政権の退陣に繋がりました。年金問題を再び参院選の争点にしたい野党と火消しに走る与党。今回はどのような結果になるのでしょうか。」 "

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返されられた。

"小川彩佳「そもそも、この今日紛糾した年金に関してはずっと 100 年安心ということが言われ続けていた、このフレーズだけ聞くと年金の額が安心して人生をまっとうするだけ十分な額としてもらえるのかなと感じていた方が多いからこそ、今回金融庁から出てきた年金とは別に 2000 万円必要ですよ、という報告書が波紋を広げたわけですよ。」

星浩「そうですね、15 年前に 100 年安心という言葉が出たんですけどもまあ政府部内でも年金だけで生活できるかどうかというのなかなか微妙だなというのが多くてですね、今回の金融庁の 2000 万円必要だというのは本音が出たところあると思うんですね。ただ、確かに実際その毎月 5 万円足りないということですし、これは厚生年金の場合ですけども、国民年金の場合は毎月 13 万も足りないのですからね、これは 100 年安心という感じではもうなくなってきているということですよ。」

小川彩佳「ちょっと程遠いですよ。そしてこの年金が将来いくら位実際もらえるのかということが出てくるような 5 年に一度チェックする財政検証の提出が遅れている。」

星浩「これは意外と数値をですね機械的に発表するものですから、厚労省の幹部もやろうと思えばすぐに出せると思うんですよ。まあ安倍総理今回の金融庁の報告書を不正確なものだと言ってるわけですから、正確な議論をするためにもこういう材料を国会に提出してですね、議論をしてもらいたいと思いますね。」

小川彩佳「出そうと思ってもいま出てきていないというのはどうしてなんですか。」

星浩「まあ厚労省は事務作業に手間おっているというんですけどもちょっと待ったがかかっているという見方もありまして、そういう見方を払拭するためにも、堂々と出してもらいたいと思いますね。」

小川彩佳「選挙前というところですけども注目されている衆院解散とダブル選挙の可能性についてですが、国会を延長せず参議院選挙が来月 21 日で最終調整されている。」 "

"星浩「そうですね。」

小川彩佳「これ、衆院解散は、」

星浩「今国会 26 日まで、会期中に解散しますとね、今月末の G20 は選挙の中での開催になりますから、ちょっとやっぱり難しいなと言う判断もありますし、今回のこの年金の問題もありまして、ダブル選挙に踏み切るの難しいという判断に相当傾いていて、ダブル選挙の可能性はほぼ消えつつあるということですけども、最終的には党首討論で結論が出るのかなという気がしますね。」

小川彩佳「19 日の党首討論ですね。」

星浩「はい。」 "

VTR での野党の発言シーンは金融庁の報告書を取り上げたシーンであり、野党議員が年金をどうしていききたいのか、ということ述べたシーンは取り上げられていなかった。VTR では「年金問題を再び参院選の争点にした野党と火消しに走る与党」と紹介されていたが、野党側は年金制度をどうしたいのか、続けていききたいのか、それとも信用ならない制度なので廃止の報告で進めていくべきと考えているのか、そうした点が見えてこず、報告書が問題だという点でとどまっているので、議論が噛み合っていないように見えてしまった。

年金制度をどうするのかという問題は続けていくべきという議論から、負荷方式から積立方式へと移行すべきという議論、果てはそもそも強制加入を前提とする公的年金制度は廃止すべきという議論まで様々な意見のある問題であるが、今回の報道は報告書が動向という点にとどまっており、放送法第四条一項四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。」という点では非常に不十分なも

のだったと言える。なお、今回のトピックに当てられた時間は 487 秒だった。

・防衛省のイージスアショアと F-35 : 結論→特に問題なし

イージスアショアについては以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"住民「私達は嘘でごまかしの説明を聞きに来たわけではないですよ。」

住民の野次「帰れ帰れ。」

住民の野次「そんなこと聞いてない。」

ナレ「飛び交う住民の怒号。」

住民「具体的な根拠、そういうことなしに大丈夫大丈夫だって言われたって納得できません。」

ナレ「これはおととい、秋田市で開かれた防衛省による住民説明会です。秋田市には陸上自衛隊新屋演習場があり、曾於湖に北朝鮮の弾道ミサイルなどを念頭にミサイル迎撃システム、イージス・アショアの配備が計画されているのです。」 "

"ナレ「しかし、」

防衛省の担当者「重大なミスが生じたということに付きまして本当に申し訳なく思っておりまして、調査全体の検討全体の信頼を失墜しかねないと。」

ナレ「先月防衛省が発表した調査報告書、イージス・アショアの配備先についてまとめた調査の一部に誤りがあったことが発覚したのです。配備予定地の近所に住む住民たちは憤りを隠せません。」 "

"地元住民「新屋配備を断念して出直すべきだということ。」

地元住民「あなた方にとってはどこか遠い国の出来事みたいな感じかもしれませんが、笑われは毎日ここで済んでいるんです子供がいます、万一事故が起きたらどうするんですか、またミスしましたっていうんですか、想定外でしたっていうんですか。」 "

"ナレ「さらに、住民を起こらせたのが、防衛省職員が取ったこの態度、有ろう事か、眠っていたのです。」

地元住民「後ろの席の一番右のあなた、居眠りしてましたよね。なにをを考えてんだ。我々の人生がかかっているぞ。」

ナレ「説明に訪れたはずの防衛省職員の居眠り、これを受け、岩屋防衛大臣は陳謝を余儀なくされました。」

岩屋防衛大臣「誠に緊張感を欠いた不適切な行為であったと思います。」二度とこのようなことが起こらないように、指示を徹底してまいりたいと思っております。」

"ナレ「そもそも、防衛省による調査の誤りとはどんなものだったのでしょうか。防衛省はあらかや演習場以外にイージス・アショアを配備できる場所があるのかを調査。東北地方の 19 箇所について検討しましたが、全て不敵としていました。例えば秋田県男鹿市の国有地については、」

音声「西側に遮蔽となる山あり、不適。」

ナレ「西側に高い山がありレーダーの電波が遮られてしまうという意味です。しかし」 "

"村瀬健介（報告）「私の後ろに見えるあちらがまさに間違いが起きた現場です、あの場所から見えるあちらの山が本来の 4 倍近い角度までそびえ立っているとしました、山の高さを実際よりも高く見積もっていたということです、原因は山の高さを計測する際に防衛省が使ったグーグルアースプロというソフトに関係しています、間違いを専門家に再現してもらいました。」

田代博（一般財団法人日本地図センター相談役）「ここだ山頂で、ここが候補地なので右クリックして高度プロファイルを表示というと、ここに断面図が出てくるんです。」

ナレ「ソフトを使い、簡単に作成できる現地の断面図、防衛省はこの断面図を元に候補地から山までの角度は15度だと計測しました、しかしここに落とし穴が、」

田代博「横に比べて縦のほうが約四倍拡大されている、要するに実際よりも高く見える。」

ナレ「断面図は垂直方向に四倍ほど拡大されて表示されるというのです、つまり実際の山の高さはこれくらい、山までの角度は正しくはおよそ4度でした。同じような誤りは代わりの候補地19箇所のうち9箇所で見つかりました。」

田代博「現象的には本当に初歩的な凡ミスだと思います、超、超、超、超、基本です、国防に関わるような仕事に従事している人がそれを知らなかったでは済まされないんじゃないでしょうかね。」

ナレ「今日、岩屋防衛大臣は。」

岩屋防衛大臣「縮尺の違いに気が付かなかったという、まあ人為的なミスでありますけれども深く反省しお詫言を申し上げます。」

ナレ「一方で防衛省は新屋演習場以外の場所はインフラなどの観点から配備候補地にはなりえない、とし、あくまであらや演習場を配備先とする姿勢を崩しておりません。近くには住宅街も広がるあらや演習場。」

村瀬健介（報告）「私の後呂は大規模な住宅地が広がっていますけれどもこちら高校の前の道をですね、こちらにわずか数百メートル進みますと候補地となっている演習場があります。失礼します、お邪魔いたします。」

ナレ「地元の町内会の役員は防衛省への不信感をつのらせています。」

佐藤一夫さん（町内会役員）「もう、新屋ありきということがみえみえですよ、私はまずそう思います。」

佐藤毅さん（町内会役員）「振り出しの戻るのよ、俺はそう思う。こんな事するんだったら今までの説明全部、疑ってかからなければいけないと思うでしょ。」

ナレ「秋田県の佐竹知事も怒りを隠しません。」

佐竹敬久（秋田県知事）「真剣にもっと考えたら、絶対に間違いとかああいう態度はないはず。あれは県民を愚弄していますよ、あれが全部、ああいうところが信頼感を失うね。」

ナレ「佐竹知事はそもそもなぜ秋田に配備するのかと、防衛省に最初から説明を求める考えを示しました。」

VTRを受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返されられた。

小川彩佳「地元の方々としてはそもそも配備されてしまうとまさきに有事の際に攻撃対象になってしまうのではないかという不安があったわけですね。」

村瀬健介「そうですね、あの、例えばもし本当に弾道ミサイルが飛ぶような有事が起きたという場合に、まさにこのイージス・アショアこそがターゲットにされるのではないかということは皆さん当然に考えていることですので、そういった不安を皆さん一番たくさん口にされていました。それと今日、私現場に行って初めてよくわかったことですが、以下にこの候補地となっている場所と皆さんの生活の場が近くにあるかということですね。今日も私達、その円周上の前で撮影をしていますとですね、近くにある学校のチャイムがものすごくはっきりと聞こえる、そういう距離感なんですね。ですから、まあ地元の皆さんが不安に思うのも当然だろうなと思いました。」

小川彩佳「学校も近いですしね、そこに今回のずさん過ぎる調査や説明会が追い打ちをかけたということになり

ますか。」

村瀬健介「そうですね、まさにその地元の皆さんとの信頼が崩れたということだと思わなければならないんですけども今回間違いが見つかった資料の中にはこの他にも強力なレーダーを出したとしても地元の皆さんには影響ありませんよとかですとかね、その他にも有事の場合にはですね、国がこの地域を守り抜きますよということも書かれているのです。ですがこうした安心安全を歌った部分もですね、本当に信用できるのかってことを皆さん思い始めていると思います。」

小川彩佳「村瀬キャスターの報告でした。」 "

また、F-35については以下に朱記したように VTR で取り上げられていた。

"岩屋防衛大臣「操縦者が空間識失調、平衡感覚を失った状態でございますけど、そのことを本人が意識しなかった可能性が高い。」

ナレ「岩屋防衛大臣は墜落事故の原因について機体に異常が発生した可能性は極めて低く、操縦士が空間識失調に陥った可能性が高いと結論づけたことを明らかにしました。この空間識失調とは操縦士が平衡感覚を失って、機体の高度や姿勢がわからなくなる状態のことです。この事故では操縦していた細身彰里 3 等空佐の死亡が発表されています。防衛省は今後 F-35 の操縦士に対し空間識に関する訓練を定期的実施するなどして再発防止に努めるとしています。」 "

VTR をうけてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「まあ膨大な予算を注ぎ込んで 100 機以上購入するそしてパイロットの命を運ぶわけですよね、機体に問題がなかったかどうかはしっかり検証されなければならないと思うわけですけども人為的な問題だった、人為的なミスだった、という検証結果になってしまうわけですね。」

星浩「まあ、この F-35 は機密の塊と言われていましてね、アメリカがその情報を全部開示することがないのになかなかその調査も難しいと思わなければならないんですけども、F-35 はよくトランプ大統領が安倍総理に大量購入ありがたいと言ってる機種でもあるので、なんかトランプ案件ではないかという懸念もあるんですね、そうしたなかでこれきちんと原因究明をしてですね国民に説明する必要があると思います、それから先程のイーリス・アショアもどんだん値段が上がり上がってきているというのが現状なんですね、まあイーリス・アショアも基本的には北朝鮮の脅威に対応するということなんですから、北朝鮮の脅威も非常に可変化していますので一回買うと決めたからやるんだ、と言うんじゃなくてまあ全体の状況に合わせて再検討していくという姿勢も必要になってくると思いますね。」 "

このトピックに当てられた時間は 807 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・香港デモ：結論→特に問題なし

香港で昨日、犯罪者の引き渡しを巡る条例の改正に反対し大規模なデモが起きたことについて、中国の外務省は香港の条例改正案を断固支持すると強調したとのこと、さらに、主催者が参加者を 103 万人と発表したことについては「香港政府の出した数字は遥かに少ない、数字の大きさで民意を語るのには説得力がない」と強弁したとのこと報じられた。このトピックに当てられた時間は 40 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・【異論反論】#月給 30 万円少ない？：結論→評価できるもの

「毎月 50 万円もらって毎日生きがいのない生活を送る歌 30 万円だけれど、仕事に行くのが楽しみで仕方がないという生活とどちらがいいのか」という列車の中吊り広告である問いかけが話題になっていることをうけて、以下に朱記したように VTR で街の声が取り上げられていた。

"20 代会社員「30 万円もらえたらかなり楽な生活ができると思うんで。」

40 代会社員「今の世の中もちろん 30 万円稼ぐのが難しいと思いますし。」

20 代会社員「これ言ってる人が 80 代の方なんですよね、今の若者のお給料の現実をあまりしならないのかなとは思いますが。」

50 代自営業「(30 万円は) サラリーマンにはめっちゃいい給料ですよ、違和感がありますよね。」

30 代会社員「ローン組むのも生活でいっぱいなので、反対に 30 万円でなにが物足りないんだろ、っていうのがちょっと聞いてみたいですね。」

記者「30 万円高いという意見もあるが。」

50 代自営業「なんか寂しいね。30 万円くらい稼げよと思うけれどもね。」

30 代会社員「30 を低いと思っているのが高齢の方だとしたら、まあ私達は低くてそれこそ十数万円の世界が低いと思うので。」

ナレ「以上、オブジェクションでした。」

このトピックに当てられた時間は 90 秒で、様々な年代層の意見がバランスよく取り上げられていたといえる構成になっており、放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」という点では評価できるものだった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感

- ・防衛省のイーグスアショアと F-35

安倍政権下では「官僚の付度」という言葉がメディアで取り上げられることが少なくないが、イーグスアショアの配備候補地として挙げられている山口県と秋田県の 2 県はそれぞれ山口県は安倍総理の地元、秋田県は菅官房長官の出身地であるというのは有名な話である。史上稀に見る大官房長官の故郷にイーグスアショアを配備するというのが、ここまでずさんな調査のもとに行われている、というのはメディアが報じるような「付度する官僚」というイメージからはとても想像もつかない実態だと感じられた。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年6月11日
<p>出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕 ゲスト：富坂聡（拓殖大学教授）</p>		
<p>検証テーマ：金融庁報告書、米中貿易摩擦、高齢ドライバー対策に本腰 東京福祉大学の留学生、総務省の携帯電話規制、中国空母が沖縄－宮古島間を通過</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融庁報告書 ・カナダが表明し加速する「脱プラスチック」 ・東京五輪の表彰台で廃プラ再利用へ ・米中貿易摩擦 ・高齢ドライバー事故への対策に本腰 ・東京福祉大学の留学生 ・NY ビル屋上にヘリが墜落 ・総務省の携帯電話規制 ・京都府で女性遺体が発見される ・札幌の死亡女兒に火傷痕 ・中国空母が沖縄－宮古島間を通過 ・秋篠宮殿下ご夫妻と長男の悠仁さまが8月にブータンに ・スポーツ報道 ・【異論反論】#高齢ドライバーの事故対策 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融庁報告書：結論→問題あり 金融庁の報告書を巡って与野党が対立しているとのことが以下に朱記した VTR で取り上げられていた。 <p>"ナレ「今日の麻生大臣の会見、異例の発言が飛び出しました。」</p> <p>麻生太郎金融相「世間に著しい不安とか誤解とかいろいろ与えているということでもありますので、担当大臣としてはこれは正式な報告書としては受け取らない。」</p> <p>ナレ「金融庁のワーキンググループがまとめた報告書を受け取らない、というのです。この報告書は高齢夫婦の平均像として老後年金だけの収入では毎月5万円の赤字であり30年で夫婦合わせて2000万円の貯蓄が必要になると指摘したもの、報告書が公表された当初、麻生大臣はこの指摘を否定することなく、こう解説していました。」</p> <p>"</p> <p>"麻生大臣「100歳まで生きるという前提で退職金って計算したことあるか？ふつうのひとはないよたぶん、俺はないと思うよね。年金は年金でやっていただき、プラスいろいろなことを考えなくては遺憾という話です。」</p> <p>ナレ「今日になって報告書を受け取らないとした理由は何なのでしょうか。」</p> <p>麻生大臣「高齢者の生活というのはこれは極めて多様ですから、従いまして毎月5万円取り崩して使っている人</p>		

もいらっしやるでしょうし、息子と一緒に農家に住んでいて田舎で全然困っていない人もいらっしやる。」
ナレ「麻生大臣は平均像で示すことが誤解を招くとしたのです、この方向転換の背景に見え隠れするのが夏に控える参議院選挙です、自民党のベテラン議員の声。」

自民党ベテラン議員「これで騒がれると 12 年前の年金問題と同じように大変だ、ちゃんとしてくれという話はある。」

"ナレ「与党幹部は報告書の火消しにやっきです。」

二階俊博幹事長「金融庁には撤回を含め、自民党として厳重に講義しているところです。」

岸田文雄政調会長「極めてずさんなものであり、まともな政策議論に供し得るものではない、と。」

山口那津男（公明党代表）「ああいう誤解を招くような、招きやすいものが出てくるというのは猛省を促したい。」

"

"ナレ「一方野党側は徹底追求の構えです。」

枝野幸男（立憲民主党代表）「選挙前では都合が悪いから受け取らない、撤回しろという話は、ちょっと啞然とせざるを得ない。」

辻元清美（立憲民主党国対委員長）「年金は安心だという、安心安心詐欺じゃないか、これじゃあ。正直に言えばいいんですよ。」

玉木雄一郎（国民民主党代表）「不都合なことを亡き者にするということをしていたのではですね、ますます老後の暮らしは不安になっていくんじゃないですかね。」

ナレ「また、野党は金融庁の担当者を読んで合同ヒアリングを行いました。」

金融庁担当者「表現ぶりですとか、やはり誤解を招くところがあったのかなと、我々事務方としては深く反省しているところでございます。」

ナレ「出席した議員からは野党にも説明を済ませた報告書を今更麻生大臣が受け取らないのは納得できないと批判。」

原口一博（国民民主党国対委員長）「金融庁がしっかり自分たちの意思だと言って私達に説明しているんですから、国会をばかにするのもいい加減にしてほしい。あなたにではないですよ、麻生氏にです。」

福島瑞穂（社民党副党首）「役所がこれ撤回しちゃダメですよ。」

ナレ「老後に 2000 万円は必要なのか、国民の関心が高い問題だけに与野党が神経をとがらせています。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「今回、麻生大臣が報告書を受け取らないという意向を示したということですが、いくら火消しに走ろうがなかったことにしようが、もうあの報告書の中身をわたしたちは見てしまっているわけですよ、もう時間の針を戻すことにできない以上、本当に今、年金がどうなっているのかということをはっきりと示していただかないとですね。」

星浩「まあ与野党はね、逃げないでしっかりと正面から議論してほしいと思いますが、あの報告書はね、どうも老後は年金だけで大丈夫なのかと薄々感じていたところをね、やっぱり 26 万円必要なのに 21 万円しかありませんという事実を明らかにしたという点ではね、一つ問題提起をしているわけですが、そこで論点なんですけれどもこのぐらいいはあると思うんですね。本当に 21 万円ですら足りるのか足りないのか、それ以外に足りない 21 万円の部分を年金以外でやってくれということですけど、資産運用とか本当にできるのかどうかとちょっと頼

りないですね。それから仮に年金が少なく嵩上げするんだったら財源はどうするんだと、これくらいの議論は簡単に出てくるのでこういう議論をしてもらいたいと思うんですよね。」

小川彩佳「まさにそうしたところがわたしたち知りたいと思っているんですよね。」

星浩「そうなんです、年金は全国民に関係がありますので、これ党利党略で考えてもらっちゃ困るわけですね、ですから真正面から議論してもらうために国会はね、まだ実は二週間残っていますのでね、この議論をしっかりやってもらいたい、まさに集中審議に、私は非常に相応しいテーマだと思いますね。」

小川彩佳「徹底的に議論をしていただきたいです。」

相変わらず与野党ともに年金制度をどうしたいのかという点あまり伝わってこない取り上げ方だった。スタジオでの星キャスターの議論は年金制度を続けていくというのが大前提での論点提示だった。これが公的年金ではなく普通の民間サービスであれば、不信を抱かれたサービスは解約されるだろうが、公的年金であるので解約というのでできない状態であるというのが民間の年金と公的年金の大きな違いである。今回は報告書の内容でまさに年金に対する信頼が揺らいでいるわけで、信用出来ないような制度は廃止しようというのは割と素朴な感覚であり、もはや年金をもらうだけの高齢者はともかく実際に年金を現時点で負担している現役世代からすると自然な発想として浮かぶような考えだとは思いますが、そうした議論がスタジオでは紹介されなかったのはかなり偏りを感じてしまった。そういう意味では放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」という点については特定の年代・世代の感覚や利害に偏った論調であるという問題が見られた。また、同四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。」という点においても不十分といえるものであった。なお、このトピックについて当てられた時間は 368 秒だった。

・米中貿易摩擦：結論→特に問題なし

米中貿易摩擦について以下に朱記したように VTR で取り上げられていた。

"トランプ大統領「我々は会談する予定だ、興味深いことが起こると思う。」

ナレ「今月下旬に大阪で開かれる G20 サミットで中国の習近平国家主席と会談する予定だと直接交渉に意欲を示したトランプ大統領。しかし、この数時間前のインタビューでは。」

CNBC 記者「大統領、もし中国が G20 を欠席したら直ちに中国への追加関税を発動しますか。」

トランプ大統領「そうなるだろう。中国と合意に至らなければ、我々は中国への関税を引き上げることになる、」

ナレ「これまで、アメリカと中国が互いに貸して k チア追加関税措置、アメリカはその第四弾として 3000 億ドル文の中国製品を対象にするとして、トランプ大統領は州主席との首脳会談が実現しなければこれをすぐに発動する考えを示したのです。互いに一步も譲らない米中の貿易交渉、ここへ来て中国側は新たな切り札をちらつかせ始めました。」

"ナレ「先月、江西省にあるレアアースの関連企業を視察した習近平国家主席、」

習近平国家主席「レアアースは重要な戦略的資源、」

ナレ「ハイブリッドカーやパソコン、携帯電話の基盤などハイテク製品の素材に欠かせないレアアース、アメリカはその輸入量の 8 割を中国に頼っていて中国に対する制裁関税の対象からレアアースを除外品目として、中国が対米交渉のカードにするのではとの見方が出ているのがこのレアアース。」

"環球時報（中国共産党系の国際紙）「アメリカが中国に圧力をかけ続けた場合、中国はレアアースという武器を

お遅かれ早かれ手にするだろう。」

ナレ「アメリカを牽制し中国はレアアースの輸出を規制する可能性を示唆したのです。そこで今、アメリカでは新たな動きが。」

"ナレ「ロサンゼルスから車で4時間。」

松本年弘（報告）「ここがアメリカで唯一のレアアースの採掘現場です、今まさにレアアースを含む鉱石を掘り出しているところです。」

ナレ「この鉱山で採掘されるレアアースを含む鉱石は年間およそ50万トン。」

マイケル・ローゼンタール CEO「ここは世界でも上質な鉱床の一つ、とても高品質ですよ。」

ナレ「その後、鉱石は選別、濃縮され製品化に必要な生成を行うため生産コストの安い中国へ輸出されます、ところが中国は今月アメリカからの輸入品600億ドル分への追加関税を最大で25%に引き上げ、その対象にレアアースの鉱石を含めました。大幅なコストアップになるため鉱山のCEOは来年後半をメドに自社の施設で生成することを決断しました。」

マイケル・ローゼンタール CEO「生き残るためには世界的な低コストの生産者になるしかありません。ていコストの中国企業と市場で競争しなければならないですが。」

ナレ「ほかにアメリカではレアアースの精製工場など新たに建設する計画も持ち上がるなど中国依存を脱却する動きが本格化しています。」

"ナレ「これまでも中国はレアアースの輸出規制を外交上の武器にしたことが、2010年、尖閣諸島沖で海上保安庁の巡視船と中国漁船が衝突した事件、これを機に中国は日本へのレアアースの輸出を停止しました。しかし、この対応が中国自身を苦しめることになりました。」

棚町裕次（Iruniverse 社長）「日本を始め各国が脱レアアース、脱中国、かえって中国の希土類業界、レアアース業界が壊滅的な打撃を受けたんですね、それを考えるとやるぞやるぞと中国側も言っているけれども、本当はそのカードは切れないんじゃないかと私は個人的には思っています。」

ナレ「中国のレアアースが注目される中、共産党機関紙の人民日報では中国政府がハイテク分野の独自技術の輸出を制限する制度を検討していると報じました。先行きの見えない米中の貿易摩擦、果たして、互いに歩み寄ることはできるのでしょうか。」

VTRを受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「ここからは拓殖大学の富坂聡教授に入ってくださいます、よろしくおねがいします。」

富坂聡（拓殖大学教授）「よろしくおねがいします」

小川彩佳「さて、改めておさらいしておきますとアメリカのレアアースの輸入先ですがこちら、中国が実に80%となっているわけですね、非常にこう頼っている、とこのレアアース、中国にとっては本当に大切な切り札。」

富坂聡「そうですね、これはもう80年台から鄧小平がですね、実は中国っていうのは資源が少ない国で、あの国土が26倍、日本のあるんですけども意外にあの石油なんかも90年代から輸入国に、その戦略的なものがないっていう中でレアアースは80年代から鄧小平が自分たちの戦略物資として作っていきこうと、実は要するに市場で作ってきた。だからその中国だけで取れるものではなくて安さで世界を席卷してきたんですね。」

小川彩佳「安さで覇権を広げてきた、というのも今や本当このハイテク機器にも必要なくらい。」

富坂聡「そうですね。だからこれほどの要するに需要が高まるというのは思っていたかどうかはわかりませんけ

れども、しかもやはりこの安さでないとダメだということで非常に競争力があるんですね、だけどころいう形です、中国がストップを掛けるということになると対策というのは色んな所で取られてきますのでね。だから必ずしもそれが中国にとっていいことになるのかって言うともむしろ、長期的に考えると中国にとってマイナスになる可能性もあるし、その中国ブロック、それ以外のブロックという感じで別れていくっていう危機感もあるし、何より中国派ですね、政治的な信用を失うわけですね。」 "

"富坂聰「いざとなったらこういうことやるのかという、そういうふう一旦要するにレッテルを貼られると、やっぱり国際社会の中で普通に経済を回していくっていうのは非常に困難になっていく、いろいろなリスクを考えるとですねやはりその見せながらその効果を最大限に生かしていくっていうのが一番アレかと思いますけれどね。」

小川彩佳「究極の諸刃の剣のような、」

富坂聰「そうですね、おっしゃるとおりですね、これは今米中の関係ですね、場外乱闘の様相を呈してきているんですけども、その本当に場外乱闘になってどうしてもということになったら抜きますか、という感じじゃないかなと思いますね。」

小川彩佳「今、このタイミングでそのレアアースという切り札をちらつかせている、のはどういうことなのでしょう。」

富坂聰「これはやっぱりまだその場外乱闘の本当にふたりとも場外乱闘に言ってしまうようなところは避けたいと言うような思惑があると思いますね、逆に。」

小川彩佳「うーん、場外乱闘まで生きたくないからこそ逆にこうちらつかせて、本当に行くのかって言うことを。」

富坂聰「そうですね、ただ実際はそういうところにかけている、これはどういうことかって言うと、つまりそのお互い関税を掛け合うような、これはほぼ管理貿易の域に入っているんですけどもそういうことをやっていたらお互いに傷つくでしょということはあるわけですね。それはお互いに傷つくって言ってもやり始めちゃったら止まらない、じゃあ一回それだけの傷をお互い負ってみましょうかっていう段階にいま来ている。で中国は要するにそのチキンレースに入ったときに、まあ貧乏はうちは耐えられますよ、一種の貧乏スイッチにスイッチオンしているわけですから、アメリカの方は耐えられますかっていうボールを投げているわけですね。だから多分レアアースよりソッチのほうが重要かなって感じですね。」 "

"小川彩佳「そこでやっぱり気になってくるのが今度の大阪の G20 のおける首脳会談なんですけれども、これ両首脳が相まみえるということがまずあるのかどうか。」

富坂聰「そうですね、だから会わないっていう可能性が出てきたんじゃないかなっていうふうに思いますね。まあパーセントでどのくらいっていうのは言えないですけど伝統的に中国っていうのはトップが出てきて丁々発止とやり合うという文化ではないので、むしろいろんなものが済んでニコニコとやり合うという文化なのでそぐわないわけなんですよね。こうやってギリギリの交渉をするっていう段階で出てくるのは。」

小川彩佳「そういう状況にならないと習近平主席は出てこない。」

富坂聰「そうですね。まあ要するに伝統的なものでね、あくまでその前例を見てっていうことですけど。もちろんその初めてそういうことをやるってこともあるかもしれませんが、ただちょっと今のところでは中国が要求しているってのは踏み込まないデッドラインに踏み込まないでくれっていうこと、これは今の段階でちょっとアメリカの譲歩っていうのは難しいですよ。」 "

"小川彩佳「そのアメリカ側としては」

星浩「アメリカもね、そう簡単にこの局面で譲歩できないですよ、2つ理由がありましてね、一つはトランプ大統領も中国を叩いているとどうも大統領選挙に向けて有利な状況になっている、意外と受けがいい、と。それからもう1つはね、トランプさんの政敵の民主党の人権派の方も中国たたきには同調しているんですよ、そういう意味ではトランプさんもなかなか引き下がれないというので、アメリカはですねおそらく習近平さんが大阪に来る、もしかしたら来ないかもしれない、来ても米中の首脳会談がないかもしれない、その可能性が高まりつつあると見ているのかもしれない。ですからここはですね、大阪のG20は安倍総理が議長ですのでね、ここは理念をきちっと原理原則を打ち出してやはり自由貿易WTOのルールが大事なんだと米中ともに訴えなければいけないですね、つまりこれは安倍総理がどういう裁きをするか世界中が見ているということなんですね。」

小川彩佳「日本としてはね、プラスはないわけですからね、この先。」

富坂聰「そうですね、どちらが勝っても怪我をするだけっていうところなんですよ。」

小川彩佳「そう追い込まれている、と。富坂さんにお越しいただきました、ありがとうございました。」"

このトピックについて当てられた時間は648秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・高齢ドライバー対策に本腰：結論→特に問題なし

高齢ドライバー対策についての政府と東京都の取り組みが以下に朱記したようにVTRで取り上げられていた。ナレ「高齢者によるアクセルとブレーキの踏み間違いが指摘される交通事故が相次いでいます。その対策として政府が高齢者を対象にした限定免許導入の検討など今月下旬に決定する成長戦略に盛り込むことがわかりました。限定免許は75歳以上を想定した高齢者を対象に自動ブレーキなど安全機能を備えて限定して運転を認めるもので政府は導入の検討を本格化させます、」

"ナレ「一方、東京都は独自に高齢者による事故の対策を進めてきました。」

小池百合子東京都知事「今、最大踏んだんですよ。」

ナレ「昨日、小池都知事はアクセルとブレーキを踏み間違えた際急発進を防ぐ装置のついた車に試乗、こうした事故の防止に効果的な装置について都は購入費の9割程度を補助する方針を固めました。」

小池都知事「一度事故が発生すれば被害者をはじめご家族や関係者も筆舌に尽くしがたい苦しみを抱えることとなります、事業者と連携して補助を実施することと致します。」

ナレ「受付開始後の一年間で装置を新たん取り付ける高齢者が対象で自己負担額は数千円程度になると見られています、都は今後さらに詳細を検証していくということです。」"

このトピックについて当てられた時間は129秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・東京福祉大学の留学生：結論→特に問題なし

文科省と入管庁による調査結果が今日公表され、東京福祉大学では2016年度からの三年間でおよそ1万2000人の留学生を受け入れそのうち1610人が所在不明となりその多くが非正規の研究生と呼ばれる留学生で不法残留も増えたとしているとのことが報じられるとともに、柴山昌彦文科相の「多数の留学生の安易かつ不適切な受け入れや不十分な在籍管理が大量の所在不明者、不法残留者などの発生を招いていることが認められました。」

という発言が取り上げられていた。また、文科省と入管庁は大学の責任は重大として、新たに入学する研究生に

NEWS23 週刊報告 詳細版

ついて当面在留資格を認めないことを決めたことおよび今後は他の大学でも在籍管理が著しく不適切な場合は学校名を公表した上で留学生に在留資格を与えない新たな制度を導入するとしているとことが伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 113 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・総務省の携帯電話規制：結論→特に問題なし

携帯電話の契約を途中で解約する際の違約金について総務省が上限を 1000 円とする案を有識者会議に示したこと、携帯電話の大手三社は月々の通信料金をやすくする 2 年契約について途中で解約した際に 9500 円の違約金を徴収していますが利用者からは高すぎるという声が上がっているとのことが報じられた。このトピックに当てられた時間は 34 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・中国空母が沖縄－宮古島間を通過：結論→特に問題なし

中国海軍の空母の遼寧が今日午前中に沖縄本島と宮古島の間を東シナ海から太平洋に向け通過したと防衛省が発表したこと、中国の空母がこの海域を通過するのは三回目であるが日本の領海への侵入や特異な行動はなかったとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 23 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年6月12日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕 ゲスト：周庭（香港の民主化運動の中心メンバー）		
検証テーマ：香港の民主化運動、安倍首相がイラン訪問、金融庁の報告書		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香港の民主化運動 ・安倍首相がイラン訪問 ・金融庁の報告書 ・女性医師殺害の疑いで大学生逮捕 ・漏電検査装い住居に侵入し 3900 万被害 ・スポーツ報道 ・#異論反論「組体操『ピラミッド』禁止」 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香港の民主化運動：結論→今後の取り上げ方に要注視 香港の民主化運動について取り上げられていた。 <p>【スタジオ、1】</p> <p>"小川彩佳「今夜のニュース 23 は今、世界中でその行方を見守っているこちらのニュースからお伝えします。香港です。中国へと変換されて 22 年ですが、その香港が今大きな岐路に立たされています。そこで今夜はスタジオに香港の民主化運動の象徴的な存在でいらっしゃる大学生の周庭さんにおこしいただきました。よろしくおねがいします。」</p> <p>周庭「よろしくおねがいします。」</p> <p>小川彩佳「一緒にお伝えしてまいります、まずは催涙弾やゴム弾も使われた緊迫の現場、こちらです。」</p> <p>【VTR、1】</p> <p>テロップ「ゴム弾、けが人も、警官隊と衝突」</p> <p>"ナレ「今日、香港の議会である立法会の周辺が大混乱に陥りました。」</p> <p>村瀬健介（報告）「ええ、デモ隊と警官隊がまさに睨み合っているその現場です、こちら側がデモ隊、そして反対側にはですね、重武装した警察隊が睨み合っています。」</p> <p>ナレ「数万人ものデモ隊が議会の周辺を選挙、これに対し警官隊が一斉排除に乗り出したのです。」</p> <p>村瀬健介「ええ、こちらの現場、大変緊迫感が高まっています、警官隊が動き出しています、大きな音をたてて厚揚げ m っている人達を排除しています。デモ隊との小競り合いが続いています、」</p> <p>ナレ「デモ隊は一斉に傘などを投げつけて警官隊に抵抗、ここまでして抗議デモを行う理由は。」</p> <p>"記者「今日の状況は」</p> <p>デモの参加者「逃亡犯条例に学生たちは反対しているからわたしたちはここに来ています。」</p> <p>ナレ「逃亡犯条例とは香港政府が容疑者の移送について定めたものです、今問題となっているのはこの条例の改</p>		

正案。香港で拘束した容疑者を中国本土に引き渡せるようにするものだと思います。そのため、中国に批判的な人たちが拘束され中国本土に引き渡される、と反対の声が上がっているのです。」

"デモ「廃案、廃案」

ナレ「そこで条例の改正を食い止めようとする人たちが議会を包囲、周辺の道を封鎖し議員らを議会に入れたいという作戦に出たのです、数万人ものデモ隊は一時警官隊を圧倒、これに対し警官隊が取った手段は。」

村瀬健介「催涙ガスの発泡が始まりました。ええデモ隊が一斉に後呂に引き始めています。そこ飛んできているから危ないから気をつけろよ。ええ催涙ガスがとんできていますデモ隊が一斉に後ろに逃げていっています、目のなめに催涙ガスが、下がれ、下がれ下がれ。」 "

【VTR、2】

"ナレ「香港で刑事事件の容疑者を中国本土に引き渡すことを可能にする逃亡犯条例の改正案、これに講義した若者らが議会周辺を占拠し、警官隊と衝突しました、数万人とみられるデモ隊は時に警官隊を圧倒、これに対し警官隊が取った手段は。」

村瀬健介「催涙ガスが飛んできています、デモ隊が一斉に後ろに逃げていっています。ああ、目の前に催涙ガスが、下がるぞ、下がる下がる下がる。」

ナレ「日本時間午後五時、事態は動きます警官は催涙弾やゴム弾を発射し抗議する人々の一斉排除に乗り出しました。」

村瀬健介「ええ、デモ隊に向かって催涙ガスが発射されて、わたしたちもまともに催涙ガスを受けましたけれども、皆さん逃げてきています。ええ、催涙ガスを打たれてわたしたちもまともに催涙ガスを浴びてしまいましたけれども、ものすごい刺激でした、息もできないほどの刺激がありまして」 "

ナレ「香港メディアによりますと、この衝突で22人がけが、デモ隊による議会周辺の封鎖により逃亡犯条例の改正の審議は議員が定数に届かず延期されました。」

民主派議員「明日夜から来週の木曜日まで抗議を続けるつもりです。香港人は戦います。」

ナレ「香港は1997年に中国に変換された後も、言論や出版の自由などが認められています、しかし近年、中国支配が強まり高度な自治が揺らぎ始めているのです、市民を中国に渡すな、9日にも行われた逃亡犯条例改正への抗議デモは香港返還以降最大の規模となりました。参加者は主催者発表で3万人です。」

"ナレ「こうした動きに対し、中国外務省の報道官は今日。」

中国外務省報道官「中国政府は香港政府が進める条例改正を断固支持する。」 "

ナレ「香港の議会は中国政府を支持する親中派が多数を占めていて政府は早ければ今月二十日にも改正案の採決を行う方針です。」

"ナレ「こうした中、香港から来日した女性がいます、現役大学紫衣の周庭さんです。」

周庭さん「香港人全員、そういうなんだろうね、もう最後の戦いだという考え方、たぶんね、沢山の人がもっています、可決されたらもう香港は香港じゃない。」

ナレ「周さんは香港で民主化を求めた雨傘運動の中心メンバーで民主の女神などと呼ばれていました。」

周庭「これは I'm Hongkonger という私は香港人ですという意味があって、香港人として自分の家を守る責任を持っていると思うし、本んこんじんというプライドをもって、今回日本もそうですし香港の戦い、これから頑張りたいという気持ちです。」 "

"ナレ「アニメ好きが高じて日本語を独学で覚えた周さん、おとといの来日以来、精力的に講演活動や取材に答え、逃亡犯条例改正案の撤廃を訴えています。」

周庭「改正案が可決されたら、これから香港人が中国大陸に引き渡される可能性がある、日本政府にも日本の政治家たちにもちゃんと、改正案、逃亡犯条例改正案に対して自分の意見をはっきりしていただきたいという。」
ナレ「公演を聞いた学生は。」

聴講した学生「日本について働きかけってのをしようっていう明確な意志があってくてくれるわけなので、それはすごいありがたいことだなと思いました。」

調光した学生「アグネス（周）さんのような若い人が働きかけて、日本の若者が動いてっていう状態が一番いいのかなって臨んでいます。」 "

【スタジオ、2】

"小川彩佳「日本にも訴えたいという強い思いをもって来日していらっしゃる周庭さんですけども、まあ一日今日はねでもが本当に激しく続きましたが仲間たちも加わっているのですよね。」

周庭「そうですね、幸い仲間たちがまあ命の問題とか怪我はしていないので、やっぱり今日、警察も銃を向けましたし、」

小川彩佳「銃を打った。」

周庭「しかも人の足を向かってとかではなく頭を直接向かって銃を打ったので、だからもう本当にそういうわたしたちでもの参加者、多分メディアも含めて殺したいという気持ちのような恐怖感が今日はすごく出ています。」

小川彩佳「ゴム弾を頭に向けて射った、と。」

周庭「そうです、だから血だらけの人も出ていますし、やっぱり香港人がみんな見るとこれから第二の天安門事件が起きるんじゃないかなっていう不安っていうより恐怖感がすごかったです。」

小川彩佳「まさに今もデモが続いているのでしょうか、ちょっとここで現場の村瀬キャスターに話を聞きます。村瀬さん。」 "

"小川彩佳「そちらではまだ人は集まっているのでしょうか、デモは続いているのでしょうか。」

村瀬健介「はい、私今後ろに見えますあちら建物が香港の立法府、議会の建物なんですけれども、その前にいますけれどもでも大破ですねあちらの建物に向かって押し寄せていたわけなんですけれども夜になりましてですね、催涙ガスを使った排除が行われていまして、現在デモ隊は大分押し戻されてます。つい先程まであちらの現場がまさにその警官隊とのにらみ合いの最前線になっていたんですけれども、実はつい 15 分ほど前にもですね再び催涙ガスが発射されまして、デモ隊が大分排除されているという状況でして、現在もですね、こちら催涙ガスの匂いが漂っているというそういう状況です。」 "

"小川彩佳「うーん、村瀬さんも催涙ガス、催涙弾を浴びていましたけれどもゴム弾も使われるというかなり危険な状況だったようですね。」

村瀬健介「そうですね、私ももろに催涙ガスを浴びましたけれどもまあ香港当局のですね、強い意思のようなものを感じました。もう 1 つこちらに取材していて気づいたことがあるんですけどもデモに参加している皆さんの顔を晒すことに対するリスクにとっても敏感になっているということです、カメラでのインタビューを断られることもたくさんありましたし、もういっぺん映像をご覧になっても気づかれたと思うのですが、デモの参加者の皆さん、殆どがですねマスクを身につけています、これは催涙ガス対策ということもあるんですけども顔を見

せないという意味もあるようです。わたしたちがカメラを向けますとそれまでマスクをしていなかった人たちが慌ててマスクを付けるという場面が何度もありました。中国共産党のグリップがですね、日に日に強まっているこの香港でですね、こうした政治的案デモに参加するということのリスクをこちらの香港の皆さんは現実のものとして捉えているということだと思います。」

"小川彩佳「村瀬キャスターの報告でした、取材気をつけて続けてください。さあ、マスクをして顔をなるべくさらさないようにして集まっていっちゃるという報告もありましたけれども、」

周庭「これはもともと自分を守るためにマスクを付けたので、香港の警察がそういうデモの参加者の顔を認識するとそういう逮捕したりとかしますので、もちろんマスクをしても認識される可能性はありますけれども、でも今回、やっぱりそういう逃亡犯条例の改正案が今審議が進んでいるし本当に可決されたら多分そういう音、認識されたデモの参加者が国家安全法とか、そしてほかにね中国政府に作り上げられた罪で中国に引き渡されるかもしれませんという危機感というか考え方もあります。」

小川彩佳「そうですね、恐怖の中でだと思わんですけれども9日にデモが行われたときは主催者発表で100万人以上が参加したと、これ実に香港の7人に一人が参加したということになりますけれども初めて参加した方も多かったのですね。」

周庭「そうですね今回、103万人のデモの参加者の中では3割か4割位は人生の中で初めてデモに参加した人です、なんでこういう人がいっぱい出てくると言う今回可決、開成さんが可決されたらやっぱり香港はもともと公平な裁判とか法治社会とか自由のある社会とかよく言われるんですけれども、こういう香港の良さ、全部なくなりますし香港が中国の一都市になるかもしれませんという感じもありますし、そして今回の改正案は影響するのは香港人だけではなく香港に来る外国人も含めて、例えば観光客や記者やビジネスマンなど、にもそういう中国に引き渡されるかもしれませんから、中国はもともとやり放題の政権なので自分がスキじゃないそういう人に色々弾圧して中国で人権を求める人達が拘束されたり拷問されたり、そして不思議な形で死んでしまった人権弁護士とか、人権を求める中国人もいましたので、今回もう人権とか自由を求める問題だけではなく身の安全に関わる問題だと思いますのでみんなも今回のデモも最後のデモに参加するチャンスだと思って、そういう覚悟を持ってデモに参加しました、と思っ

小川彩佳「ここを逃したらもう戻ることはいけません。」

周庭「戻ることはいけませんじゃなくて香港は香港じゃない、になる可能性が非常に高いですね。」

小川彩佳「まあの逃亡条例の審議は延期が発表されましたけれどもいつまた議会が開くか星さん、全く見通しがない状況ですね。」

星浩「そうですね、まあ力で寝、おそらく抑え込もうとする動きがこれからどんどん強まるでしょうけどここはやはり国際世論がね、香港の市民を応援していく必要があると思いますよね。」

周庭「まあやっぱり国際社会からの注目がわたしたちにとって非常に重要だと思います。この改正案に対してイギリス政府、カナダ政府、アメリカ政府、そしてEUも異例のステートメントや懸念や反対の声が上げましたので、私今回東京に来るのもやっぱりこれから日本政府も、日本と香港は強い経済的なパートナーであり、やっぱり今回日本の政府にも自分の意見をはっきり言っていたきたいという気持ちを持っています。」

小川彩佳「今を逃したらあとがないという周さんの強い危機感が伝わってまいりました、香港にいらっしゃる方々も同じだと思います。周さん今日は本当にありがとうございました。」

このトピックについて当てられた時間は 1054 秒だった。

今回はスタジオに民主化運動の代表でもある周庭さんをゲストとして招いていたこともあり、民主化運動側に焦点のあたった報道となっていた。他方で、そもそもどういった経緯で逃亡犯条例の改正案が出てきたのかということや香港内部の親中派と民主派の対立はいつ頃から起きているのかと言った事態の背景を説明する概略的な部分は手薄となっていた。今回の報道でもって放送法上直ちに問題があるとは言えないが、今後の取り上げ方には注視が必要と考えるものであった。

- ・安倍首相がイラン訪問：結論→特に問題なし

安倍首相がイランを訪問していることについて以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

須賀川拓（報告）「はい、ええこちらはテヘラン市内にあるイラン外務省の前です、イランのですね今朝の地元紙ご覧いただけますでしょうか、安倍総理の Twitter の写真を引用して大きく報道されています、そしてこの外務省からおおよそ三キロほど離れた宮殿で 45 分前から安倍総理とロウハニ大統領の会談が始まっています。テヘランでロウハニ大統領にお目にかかれたことは本当に嬉しく思います、こう語りかけた安倍総理ですが、イランは核合意を巡るアメリカとの対話に真っ只中において中東地域は、テヘランでロウハニ大統領にお目にかかれたことは本当に嬉しく思います、こう語りかけた安倍総理ですが、イランは核合意を巡るアメリカとの対話の、対立の真っ只中において中東地域は緊張が続いています、ここでいわば仲裁役として赴いた安倍総理は緊張緩和に向けイラン側に欠く合意の遵守や地域の安定のための建設的な役割を求める様子です、さらにトランプ大統領が口にしてのイランとの軍事衝突は望まないという考えも改めて伝えていているといひます、では、アメリカの経済制裁で物価が高騰し厳しい生活を強いられているテヘラン市民は安倍総理になにを期待するのか聞いてみました。」

"イラン市民「日本はアメリカの一番の友だちだから。メッセージがあるとしても、自分たちのためになる提案しかならないと思うよ。」

イラン市民「国同士の対話は良いと思うけど、なにをしようとしているのかは全くわからないわ、(核兵器は)もっているはず。必要とあるならば絶対持っているはず」

ナレ「多くの人たちは総理訪問がイランにとって良いことにつながるのかわからない、と冷静な見方があるのが実情です、この中で安倍総理が今回の訪問でどう外交力を発揮できるのか、会談後には共同記者発表が行われる予定です、テヘランからは以上です。」

また、VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返り広げられた。

"小川彩佳「イランの市民の皆さんからはかなり冷静な声が聞かれましたけれども日本政府としてはどういう役割を狙っていくんですか。」

星浩「日本派ですねイランとは非常に長い間友好関係がありますよね、安倍総理はトランプさんと信頼関係があるというのでここはイランとアメリカの対立関係を解きほぐす、仲介をするという非常に大事なことだと思いますよね。今回もですね、月末に大阪で開く G20 サミットにイラン政府の幹部を招いてですね、大阪でそのアメリカとイラン、イランとサウジ、そういう接触ができないかというのを今模索しているという状況だそうですね。」

小川彩佳「あ、そういった計画が、成果として残せるかもしれない、と。ただ、そういう計画が実現したとしても日本が仲介するにはアメリカとイランの緊張は高すぎますよね。」

星浩「特にトランプさんはねとにかく来年の大統領選挙を睨んでイランと緊張関係があるっていうことでそれが

票集めにつなげようとしていますしね、イランもそう簡単に屈する訳にはいかないということで、今回、その仲介をしたとしても劇的にね、アメリカとイランの関係が進展するというのはちょっと難しいかもしれませんね。」

このトピックについて当てられた時間は 234 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・金融庁の報告書

金融庁の報告書をめぐって以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"中野晴啓（セゾン投信社長）「これをね、作る側の立場としては一言残念な思いです、後ろ指を指されるような内容は委員の一人としてはなにもない。」

ナレ「こう話すのは金融庁の報告書を作成したワーキンググループの委員の一人です、老後の資金として夫婦で 2000 万円の貯蓄が必要、などとした報告書、民間企業や大学から集まった 21 人の市場ワーキンググループのメンバーが去年 9 月から 12 回に渡り審議し、まとめられたものです、しかし昨日。」 "

"麻生太郎金融相「これも、世間に著しい不安とか誤解とかいろいろ与えているということでもありますので、これまでの政府の政策スタンスとも異なっておりますので、これは正式な報告書としては受け取らない、と。」

ナレ「報告書を受け取らないとした麻生大臣。」 "

"ナレ「この政府の方針を疑問視する声が上がっています。報告書を作成した別の委員は」

報告書作成に関わった委員「自分たちが声をかけて議論したのに、目先の選挙だけを考えて受け取らないのはおかしい話だ。」 "

ナレ「一方、野党は報告書について予算委員会の集中審議の開催を求めています但与党側は応じない考えを伝えました。」

森山裕（自民党国対委員長）「報告書はありませんので、いや審議する必要はないということではなくて審議の対象にはならない、ないわけですから。」

ナレ「野党側は夏の参議院選挙の争点だ、などとして追及の姿勢を強めています。」

"辻元清美（立憲民主党国対委員長）「消えた年金ならぬ、消された報告書ということで、報告書が抹殺されるというような事態、これは民主主義の危機だと思います。」

玉木雄一郎（国民民主党代表）「選挙に都合が悪いからといって受け取らないというのは前代未聞、審議会にも付度が蔓延すると、まさに今の付度政治極まれりという感じがします。このことについてはあの、厳しく追求をしていきたいと。」 "

"ナレ「ただ、報告書の作成に携わった委員からは冷静なしっかりとした議論を求める声が上がっています。」

中野晴啓「自分の人生を、あの公助だけではなくて、公助も加えて自助もキチンと取っていくことで自分が納得できる豊かな人生が作れるという考え方の提案書ですから議論し直してそれこそ政府も我々自身もお互いに納得できるようなものに修正して、そして世の中の一人でも多くの生活者がちゃんと素直に読み込めるものに作り変える努力をしていけばいいと思っています。」 "

ナレ「国会では来週 19 日に党首討論が行われることで与野党が合意、安倍総理はなにを語るのでしょうか。」

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「今日も金融庁の報告書を受け取らない、ということでしたけれどもそもそもこの方向所というのは金融担当大臣である麻生副総理の諮問を受けて、求めを受けて提出されたものですから、責任を問う声も出てきま

すよね。」

星浩「諮問したんですけれども中身が気に入らないので受け取らないというのは聞いたことがないですね、私もね。まああの火消しにやっきということなんでしょうけれども、今回その報告書をまとめた人たちはかなり実績のあるエコノミストたちで中身もね、そのデータとか予想がしっかりしているんですよ、ですからこの議論、このデータを元に本格的な議論をしてもらいたいと思うのですけれども、現実には政府与党は拒むでしょうからなかなか進まないと思います。最後はおそらく野党は麻生副総理の不信任案を出して、そこで勝負ということになってくると思いますね。」

小川彩佳「そして火消しに走れば走るほど、反発が大きくなりそうな気がしますね。」

星浩「そうですね。」

このトピックについて取り上げられた時間は 283 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

検証者所感

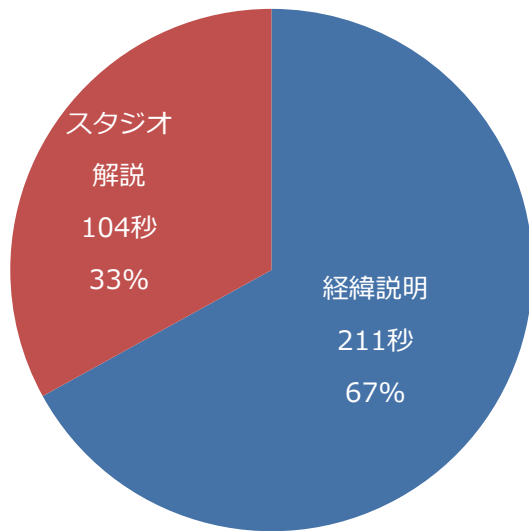
・金融庁の報告書

国民民主党の玉木雄一郎代表の「選挙に都合が悪いからといって受け取らないというのは前代未聞、審議会にも付度が蔓延すると、まさに今の付度政治極まりという感じがします。このことについてはあの、厳しく追求をしていきたい。」という発言が取り上げられていたが、そもそも本当に付度しているのであれば選挙前にこういう物議を醸すような報告書は提出しないのではないだろうか。

また、この報告書にはエコノミストも参加しているとのことが星キャスターによって語られており、VTRにもセゾン投信の社長が出ていたが、年金とは別に老後の蓄えを持とう、という話であれば、そこは金融業界の出番となるだろう。これを金融庁が公の報告書として語るというのは自らの所管業界に対する利益誘導と見られてもおかしくないのではないだろうか。しかし、それを言ってしまうと、そもそも公的年金制度や公的社会保険制度自体が民間の年金や保険といった金融業に対する民業圧迫であるとも言えるのが難しいところではある。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送：2019年6月13日
出演者：【キャスター】小川彩佳、山本恵里伽、星浩、石井大裕		
検証テーマ：ホルムズ海峡でタンカー攻撃、安倍首相イラン最高指導者と会談、金融庁報告書問題 「天皇発言」の韓国議長が謝罪		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> ・ホルムズ海峡でタンカー攻撃 ・安倍首相イラン最高指導者と会談 ・金融庁報告書問題 ・女性医師殺害事件 ・【特集】技能実習生の苦悩 ・香港・大規模デモ ・池袋車両暴走事件 ・「天皇発言」の韓国議長が謝罪 ・京都・女性遺体遺棄事件 ・富山・猫盗難事件 ・スポーツ報道 ・#異論反論 objection 「旅館退去後の布団はどうする？」 ・天気予報 		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> ・ホルムズ海峡でタンカー攻撃→結論：放送法第四条の見地から問題なし。 今回は、ホルムズ海峡付近で日本関係の積み荷を積んだタンカーが攻撃を受けたことが伝えられた。この事態に際して、各国の反応が錯綜している状況も伝えられた。今トピックに充てられた報道時間は315秒で、経緯説明・スタジオ解説に焦点があてられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。		



報道内容内容は以下の通り。

小川「実に 41 年ぶりに日本の総理がイランを訪問しているそのさなかの出来事でした。日本のタンカーなど二隻がホルムズ海峡で攻撃をうけるという事態が発生しました。乗組員一人が軽いけがをしたという情報が入ってきています。現場の海域では先月にも同じような攻撃を受けていたということです。」

ナレーター「海上でタンカーから黒煙が上がっています。」

世耕弘成経産相「本日 11 時 45 分にホルムズ海峡近くを航行中の日本関係の積み荷を積んだ船が、攻撃をされたとの情報があり、現在更なる情報収集しているところであります。」

ナレーター「日本時間午前 11 時 45 分ごろ、ペルシャ湾とオマーン湾をむすぶホルムズ海峡付近で 2 隻のタンカーが何ものかの攻撃を受けました。ホルムズ海峡はサウジアラビアをはじめペルシャ湾岸諸国で産出された石油を運ぶタンカーの通り道になっており、世界で産出される原油の 3 割が通過する要衝です。攻撃を受けた 2 隻のタンカーのうち、一隻は東京千代田区の国華産業が運航するコクカ・カリジャスです。メタノール 2 万 5 千トン積んでいました。攻撃は 2 回にわたったということです。」

堅田豊社長（国華産業）「エンジン部分に近いところに砲弾を受けてが外板が貫通し、その火花で延焼が生じました。」

ナレーター「1 回目の攻撃は現地時間の午前 6 時ころのことだったといえます。砲弾はエンジンルームを直撃。火はすぐに消し止められたといえますが。」

堅田社長「その後 2、3 時間たって改めてまた別の砲弾、これはミサイルなのか貫通弾なのかわかりませんが、本線の甲板の上の方に着弾し被害を受けております。」

ナレーター「フィリピン人の船員 21 人は全員脱出しましたが一人が軽いけがをしました。船は現在漂流中とのことです。コクカ・カリジャスとともに攻撃を受けたもう一隻のタンカーは台湾の台湾中油がチャーターしたフロント・アルテアです。攻撃を受けた直後とみられる動画では、船体下部海面に近いところから黒煙が上がっているのがわかります。台湾中油の CEO はロイター通信の取材に対し、海中で船を攻撃する水雷のようなもので

攻撃を受けたと述べたということです。船員 23 人は全員が脱出。イラン南部の町に到着したということです。国土交通省によりますと現場の海域では、先月にも船が攻撃される事案が発生しており、海運関係企業に注意呼びかけていたということです。」

小川「ここでイランから最新情報を伝えてもらいます。首都テヘランに須賀川記者がいます。須賀川さんお願いします。」

須賀川記者「はいお伝えします。タンカー攻撃の情報はこちらでも大きく取り上げられています。ロウハニ政権の報道官は地域を不安定にすることで利益を得る何者かがいる。中東周辺国はその罠にかからないよう注意するべきだ。といったコメントを発表しています。また政権に近い通信社は、明確な証拠を示さないままアメリカの関与を指摘しています。一方先月ホルムズ海峡付近でサウジアラビア船籍のタンカー 4 隻が何者かに攻撃を受けて損傷した際には、サウジやアメリカが暗にイランの関与を主張していました。アメリカとの緊張が高まり、その仲介として安倍総理がイランを訪れたそのさなかに行われた今回の攻撃、それぞれの立場からそれぞれの主張が飛び交う、そういった状況になっています。」

小川「須賀川さん、安倍総理がイランを訪問しているそのさなかの出来事だったということですが、まだ情報が錯そうしているようですね。」

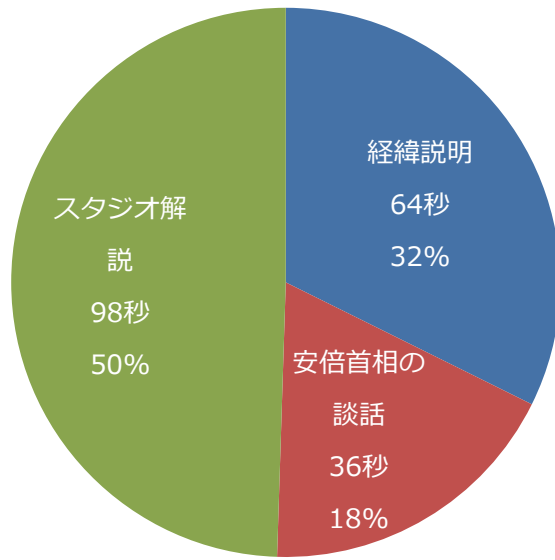
須賀川記者「そうですね。現地の政権に近い通信社は特に証拠を出していませんけれども、アメリカの関与を伝えています。そしてアメリカのメディア、イギリスのメディアがそれぞれ違う国ですが、をそれぞれの主張を発表しているそういった状況です。」

小川「騒然となっている状況を呈しているようですが、須賀川記者の報告でした。」

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

・安倍首相イラン最高指導者と会談→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は安倍首相がイランを訪問し、最高指導者のハメネイ師と会談したことが伝えられた。今トピックに充てられた報道時間は 198 秒で、経緯説明・安倍首相の談話・スタジオ解説に焦点が当てられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。



報道の内容は以下の通り。

小川「一方、イランを訪問している安倍総理でしたが、イランの最高指導者でハメネイ師と会談を行いました。アメリカとイランの橋渡し役はどうだったのでしょうか。」

ナレーター「日本時間の今日午後、イランの最高指導者ハメネイ師と会談を行った安倍総理。アメリカのトランプ大統領から「事態のエスカレートは望んでいない」との発言を紹介しましたが、ハメネイ師は。」

ハメネイ師「トランプのメッセージに対して何も言いたくありません。あなたとは話しをしますが、彼にはまったくメッセージを送る気はないです。トランプにはメッセージを交換するような資格がないからです。」

ナレーター「会談終了後、安倍総理はハメネイ師が『核兵器を製造も保有も使用もしない。その意図はない。』と述べたことを明らかにしたうえでこう述べました。」

安倍総理「本日はイランの最高指導者であるハメネイ師にお目にかかり、平和への信念をうかがうことができました。これはこの地域の平和と安定の確保に向けた大きな前進であると評価しています。」

ナレーター「そして緊張緩和に向けた道のは大変困難だが、この地域の平和のために努力を重ねたいと強調しました。」

小川「この訪問のタイミングでタンカーが攻撃を受けたということですが、もすでに様々な情報が飛び交っているようですね。」

星「アメリカ軍の把握でもこれはイランの関与なのか、それともイランを偽装した勢力なのかははっきりしないようです。いずれにしても、日本政府としてはこの事件によって原油が滞ってくる、それが原油高につながってくる。そうすると株価にも跳ね返ってくる。それを心配しているわけですね。」

小川「ホルムズ海峡は生命線なわけですからね。イランの中では穏健派といわれる方々がいらっしゃる、ロウハニ大統領がそうですけれども、その一方で強硬派もいるわけですね。そうした中で安倍総理のこのイラン訪問。」

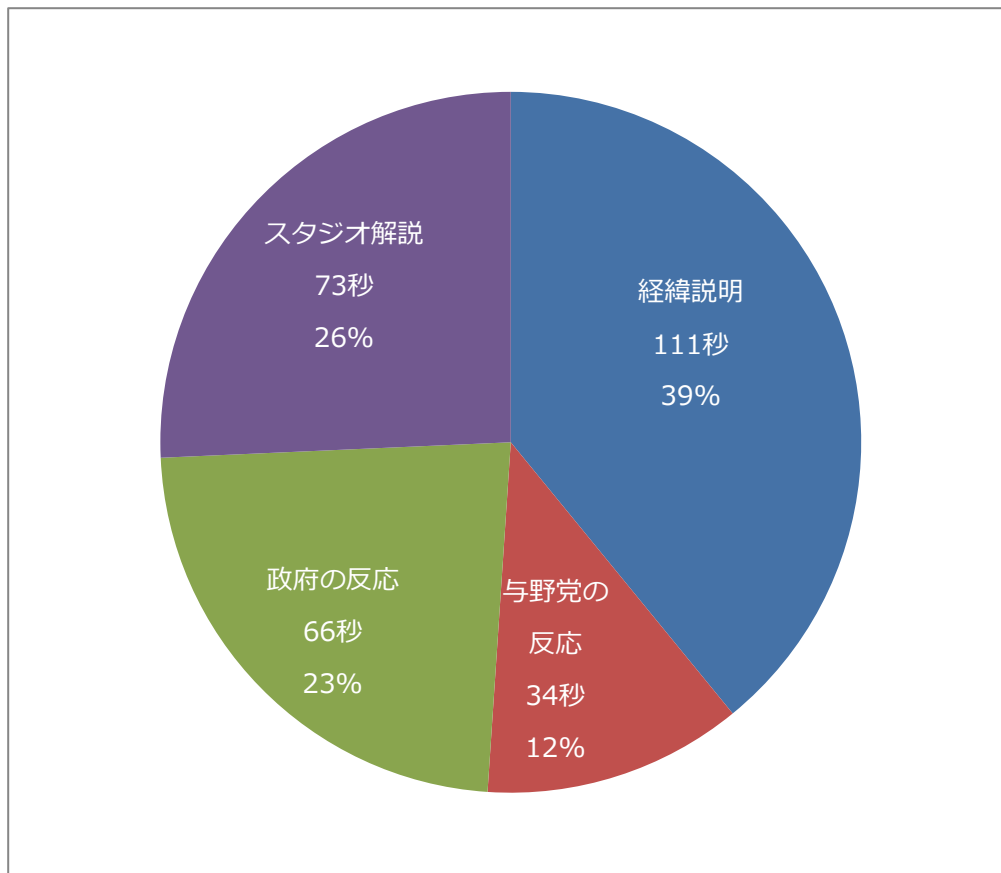
星「そうですね。仲介役を目指していたわけですが、ハメネイ師と会談で来たことは一つの成果と言えます。」

す。ただ日本側によりますとイラン側の反応は相当厳しかったということです。アメリカ側に制裁を解除するようきちんと伝えなさいという口調だったようですが、そういう意味でほんとに仲介役を果たすとすればイラン側が本当に核開発はしませんと固めたうえで、アメリカに伝えたと、アメリカ側はイランの核開発合意に戻りますということが最終的な仲介の形態なんですけれども、どうやらこれはアメリカ側もイラン側もそこまで譲歩する気配はありませんので、今回そういう意味でイランアメリカ関係の難しさを実感した訪問だったと思いますね。」

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

- ・金融庁報告書問題→結論：放送法に触れる可能性あり

今回は金融庁が出した報告書について、与野党から疑問が挙がっていることと政府の反応について報じられた。今トピックに充てられた報道時間は 284 秒で、経緯説明・与野党の反応・政府の反応・スタジオ解説に焦点が当てられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。



報道の内容は以下の通り。

小川「では次です。老後に二千万円が必要とする金融庁の報告をめぐって新たな事実が判明しました。」

山本「麻生大臣は政府のスタンスと異なるとして、報告書の受け取りを拒否しましたが、報告書の試算の根拠となったのは政府自らが示した資料だったことが分かりました。」

石橋通宏参議（立憲民主党）「市場はワーキンググループの報告書って消えてなくなったんですか。」

ナレーター「老後の資金に二千万円が必要と記述した金融庁の審議会の報告書。」

麻生太郎金融相「政府の政策スタンスとも異なっておりますので、正式な報告書として受け取らないということを決めました。」

ナレーター「おととい、麻生大臣は政府のスタンスとは異なるとして受け取りを拒否しましたが、本日新たな事実がわかりました。二千万円は毎月五万五千円の赤字を 30 年間で合計したのですが、この五万五千円を示したのは実は厚生労働省だったのです。年金課長は審議会のワーキンググループでこう発言していました。『高齢夫婦無職世帯の実収入と家計支出との差は月五万五千円程度となっております。』菅官房長官も五万五千円を示したのは厚生労働省であると認めています。」

菅官房長官「高齢者世帯の収支差額が五万五千円との説明を行ったことは事実。しかし報告書に盛り込まれた 30 年で約二千万円の金融資産の取り崩しが必要というのは、このワーキンググループの独自の意見であると承知しています。」

ナレーター「政府の主張はこうです。毎月五万五千円が不足するというのは認めるが、30 年で二千万円が不足するというのは認めないということです。一体どういうことなのでしょう。」

厚生労働省担当者「支出については 年齢階層が上がるごとに低下する傾向がある。食費とか当然そう。五万円×12×30 の二千万。こういう議論は普通はやらないはず。」

ナレーター「年齢とともに支出は減ることから二千万円も不足しないということです。この二千万円を巡り、報告書の受け取りを拒否した麻生大臣。この姿勢に与野党を問わず疑問の声が上がっています。」

辻元清美対委員長（立憲民主党）「安倍政権に新しい手口が加わったと。ホームページにまで出して公表したものをなきものにしてしまう。消去抹殺という。」

小泉進次郎厚労部会長（自民党）「報告を受け取る受け取らないというその対応を超えて、社会保障改革待ったなしだと議論するチャンスに変えないといけない。」

ナレーター「あすの国会審議には麻生大臣が出席する予定で、野党は迫及する構えです。」

小川「VTR にもありましたけれども年齢階層が上がるごとに支出は低下する。だから二千万円にはならないというロジックですが。」

星「なんだか、年を取れば医療費が膨らむはずだと思ってしまいますが。今回の経緯について何人か自民党の人と話したら、おそらく自民党の人でまともに勉強している人だったら五万五千円不足しているというのは知っていたんだろうと。ただ今回の報告書で衝撃的だったのは、それを 30 年間不足分を足していくと二千万円になるというのがショッキングだったと。もう一つは不足分を金融資産の運用で賄おうと。これもちょっと違和感が。そんなに運用するほど思っていないという人が大多数かと。ですから、問題は二千万円なのか千五百万円なのか、三千万円なのかという問題ではないような気がします。年金と実際の生活資金との間に五万五千円のギャップがあるんだということ、これをずっと放置していたということなんです。やはり抜本的な年金改革を怠ったというツケがいまきているということだと思います。」

時間配分を見ると、与野党の反応に対して、政府の反応が多く時間を占めていることが分かる。与野党の反応が 12% に対して、野党の反応は 23% でおおよそ 2 倍の開きがある。これは政治的に公平であるとは言えない。「与野党問わず疑問の声が」という報道の仕方であるならば、時間的な公平を保つことが望まれる。

今回は放送法第四条第一項二号「政治的に公平であること」に抵触する可能性がある。

NEWS23 週刊報告 詳細版

・「天皇発言」の韓国議長が謝罪→結論：放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

今回は慰安婦問題に関して「天皇陛下が謝罪することが望ましい。」と発言した韓国の議長が謝罪したことが伝えられた。今トピックに充てられた報道時間は21秒で、経緯説明が主な内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし。

検証者所感

特になし。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年6月14日
出演者：星浩、小川彩佳、山本絵里伽、石井大裕		
検証テーマ：衆院解散、自民党参院選公約発表、「老後 2000 万円」金融庁報告書		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホルムズ海峡で日本企業が運航するタンカーが攻撃を受ける ・安倍首相イラン訪問 ・老後 2000 万円問題をめぐる国会論戦 ・大谷翔平選手サイクルヒットを記録 ・日米貿易交渉、茂木大臣から「参院選後に成果」 ・介護職員の女性遺体が発見された件について、警察が殺人と断定 ・福島を除染現場で働かせるために男を連れ去ったとして 3 人を逮捕 ・11 月に天皇陛下とローマ教皇との面会が計画される ・海上保安庁、先月から違法操業の北朝鮮漁船 300 隻以上に退去勧告を出す ・「リアルすぎる油絵」画家・三重野康さん ・スポーツ報道 ・仏捜査当局、カルロス・ゴーン氏が自身の結婚披露宴にルノー社の資金を流用の疑いで家宅捜索 ・振り込め詐欺被害を 2 度未然に防いだスーパー店員が表彰 ・天気予報 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安倍首相イラン訪問：結論→特に問題なし <p>今回の報道は、安倍首相がイラン訪問から帰国したことについてであり、このトピックについて当てられた時間は 184 秒だった。なお、今回は対立点や論点などは特に見られなかった。</p> <p>また、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。</p> <p>小川キャスター「トランプ大統領からの謝意という安倍総理の言葉がありましたが、安倍総理のイラン訪問の成果について星さんはどうお考えでしょうか」</p> <p>星キャスター「今回ハメネイ氏を含めてイラン側の本音を引き出すことはできたと思うが、それをトランプ氏に伝えるだけでは単なるメッセンジャーであり、やっぱり安倍総理の考え方、とりわけ核合意についての考えを伝える必要がある」</p> <p>小川キャスター「核合意については、イラン側が守っていたものをトランプ大統領が一方向的に離脱を決めた。だからこそ仲介役であればトランプ大統領に訴えかけるべきだと」</p> <p>星キャスター「それが筋が通っていて。核合意は国連常任理事国とドイツが合意し、日本も高く評価していたわけですからそれを一方向的にトランプさんが離脱したわけで、トランプさんからすればオバマ政権のものは全てダメという理由で離脱したのでしょうか、政治的な思惑、選挙に有利という理由で離脱するのではなく、イランの核合意は大事ですよと安倍総理が説得できるかということがポイントなので、実は中東諸国だけではなく世界</p>		

中が安倍さんの本当の力量を見ていると思いますね」

・老後 2000 万円問題：結論→特に問題なし

今回の報道は、金融庁が発表した報告書の内容に端を発するいわゆる「老後 2000 万円問題」に関する報道であり、このトピックについて当てられた時間は 390 秒だった。なお、今回は対立点や論点などは特に見られなかった。

国会論戦で、無所属で「社会保障を立て直す国民会議」会派に所属する松原仁衆院議員(東京 3 区-比例東京ブロック)、および無所属で立憲民主党と統一会派を組む大串博志衆院議員(佐賀 2 区)からの質疑について、それぞれ以下に朱記したやり取りが VTR で取り上げられていた。

松原仁(衆院議員、社保会)「麻生大臣は報告書を受け取らないという行動で、国民の不安は払しょくできたとお考えですか」

麻生大臣「政策の参考にしないと決めたことの方が安心感を与える幅が大きいと思っている」

大串博志(衆院議員、立憲民主党会派)「選挙やばいと思って焦って火消しに走って、権限があるかどうかもはっきりしないのに受け取らないことにしたと、前代未聞の逃げ工作をやっている、隠ぺい工作をやっている、そういうことではないでしょうか」

麻生大臣「選挙向けのパフォーマンスと指摘したいようにお見受けしたが、私どもとしてはそんなつもりは一切ございません」

大串議員「大臣、年金はお受け取りになっていますか？」

麻生大臣「受け取っていないと思います」

大串議員「79 歳でいらっしゃいますが、「受け取っていないと思います」というご自分が年金を受け取っているかをご存じないということですか？」

麻生大臣「この件に関しては「(秘書の) 君に任す」と言った以来、このことに関しては正確な記憶はありませんので」

大串議員「年金の不安、年金で大丈夫かなと考えたことはありますか？」

麻生大臣「自分の生活として心配したことがあるか、ということはありません」

また、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

小川キャスター「だからこそ公開が待たれる年金が 100 年安心かどうかの財政検証ですけど、取材によればすでに完成しているという話もある。一体いつになったら公表されるのでしょうか」

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

検証者所感

特になし